

講義名称	卒業研究 I	担当教員名	三成 清香
科目群	必修 (REQ)		
科目区分等	卒業研究 CA4 DI2	単 位	2
対象学年次	2年・春学期	ナンバリング	REQ211

授業のキーワード	多文化共生 (やさしい日本語)、第二言語としての日本語、比較文化・文学
授業の概要	多文化共生と日本語、文学や文化の比較について学生による発表をベースに卒業論文執筆を意識しながら概観します。これらのなかから関心のあるテーマをひとつ選び、卒業論文を執筆していきます。
期待される学習成果 (目標)	1. 日本における多文化共生社会、文学作品や文化について比較しながら理解を深めることができます。 2. 日本語という言語を多角的にとらえられるようになります。

授業展開		
回	テーマ	内 容
1	オリエンテーション	授業の進め方・評価方法等について説明します。
2	やさしい日本語①	「やさしい日本語」について学ぶとともに、それらを使って様々な種類の文章を書き、発表します。
3	やさしい日本語②	「やさしい日本語」について学ぶとともに、それらを使って様々な種類の文章を書き、発表します。
4	多文化共生社会とは①	多文化共生社会とはどのようなものかについて学びます。
5	多文化共生社会とは②	多文化共生社会とはどのようなものかについて学びます。
6	文化と文学を比較する①	文学作品や文化を比較する方法について学びます。
7	文化と文学を比較する②	文学作品や文化を比較する方法について学びます。
8	中間のまとめ	ここまでの学びを総括します。
9	ゼミ論文の準備①	各自ゼミ論文のテーマを決めます。
10	ゼミ論文の準備②	各自ゼミ論文の目次を決めます。
11	ゼミ論文の準備③	各自ゼミ論文の構想を発表し、議論します。
12	ゼミ論文の準備④	各自ゼミ論文の構想を発表し、議論します。
13	ゼミ論文の準備⑤	各自ゼミ論文の構想を発表し、議論します。
14	ゼミ論文の準備⑥	各自ゼミ論文の構想を発表し、議論します。
15	まとめ	これまでの総括を行います。夏休み中に行うべきことを確認します。

定 期 試 験	定期試験は実施しない。
授 業 時 間 外 学 習	授業の前半はゼミ論のテーマ決定のための下調べを行い、後半は各自テーマを決め、それについて学生同士で議論します。ゼミの時間以外に資料探しや発表のための準備に時間を割いてください。
評 価 方 法	各回の課題への取り組み (50%)、中間レポート (20%)、ゼミ論文の構想と作業計画書の提出 (30%)
使用する教科書 (必ず購入してください)	
参 考 文 献	吉開 章『入門・やさしい日本語 外国人と日本語で話そう』 (アスク/2020) 庵 功雄、岩田 一成他『〈やさしい日本語〉と多文化共生』 (ココ出版/2019)